



クラブ活動始まる!



生け花クラブの活動の様子

システムです。ちなみに今年度のクラブ活動は、バドミントン、室内ゲーム・将棋、卓球、動画制作、科学、イラスト、ボール運動、生け花、工作、読書、昭和、タグラグビー、ミュージカルと決まりました。

昨日18日(水)は、クラブ活動が本格的に始まりました。4年生から6年生までの発達段階や経験の差がありますが、それぞれが互いに協力しながら活動していました。小学校のクラブ活動の経験が、部活動などの中学校生活の充実や将来の趣味や職業へと発展することなども考えられます。これからもクラブ活動を楽しみながら充実させてほしいと思います。

♡ひこうきぐも✈ vol.3

当時のアメリカは、財政面でとても厳しい状況下にありましたが、同時に私の財布の中の財政も厳しいものがありました。そこで私は、現地の知り合いを通じて、アルバイトをさせてもらうことにしました。そこは支店長さんが日系3世の不動産屋で、日本人の私に同情し、雇ってくれたのです。アルバイトの内容は簡単なビラ配りです。

ロサンゼルスでは、「売家」の看板をよく目にしました。ここでは、持ち家を売り、より条件のよい家に引っ越していくのが普通だと聞きました。だから不動産が扱う物件も多いのです。私が配るビラには、「家を売るときにはうちに連絡を!」のような内容がうたわれていました。ただポストに投げ込むだけの簡単な仕事でした。

何日かアルバイトをして、僅かなお金を得ると、すぐに東海岸行きの飛行機の切符を買いました。東海岸へ行く準備を整えた私は、お世話になった不動産へお礼の挨拶に行くことにしました。朝からのニュースで、「昨日のカージャック3件」という情報が流れていました。まるでゲーム感覚で自己の欲求を満たしていくこのカージャックのせいで、暗い気持ちを引きずりながら、不動産屋へと向かいました。

「支店長さんはどこにいらっしゃいますか?」と尋ねると、不動産屋の社員の人が、首を横に大きく振りながら「ボスは死んだ…」と言ったのです。何と社長は、不動産屋へ押し入った強盗の凶弾に倒れられたのです。そのあまりにもあっけない人の最期に、銃犯罪への怒りと虚しさが込み上げてきました。不動産屋の壁には、弾痕が生々しく残っていました。

不況当時のアメリカで、不動産屋に強盗が押し入ることは、珍しいケースだそうで、支店長さんは、強盗に銃で応戦しようとして撃たれたのです。

※「ひこうきぐも」は、あくまでも荒木が旅をした当時、約30年前の街の様子です。現在とは状況に違いがあることをご了承ください。